



1月3日、知覧文化会館で成人式が開催され、新成人307人（男性163人、女性144人）が出席しました。オープニングセレモニーでは、知覧武双太鼓による勇壮で華麗な太鼓の演奏が、会場を魅了しました。第1部式典では、式辞や祝辞が贈られた後、新成人を代表して角智希さんと西達也さんが、20歳としての抱負や感謝の気持ちを述べました。第2部の実行委員会主催行事では、中学生時代の写真や恩師からの激励のメッセージが上映されたほか、新成人の主張や豪華商品が当たる抽選会も行われ、会場は笑顔と笑い声であふれていました。新成人は、来賓や保護者など多くの出席者から祝福され、社会人としての責任と自覚を胸に新たな第一歩を踏み出しました。



▲第1部司会進行の主税七海さんと田原将晃さん。



▲新成人の皆さんから送られた“一眼レフカメラ”が、岡村由佳莉さんから市に寄贈されました。新成人の皆さんありがとうございました。



▲地元特産品など、さまざまな商品が当たった抽選会。



▲新成人を代表してスピーチする角智希さんと西達也さん。



▲式の企画・運営に携わった成人式実行委員の皆さん。

～ 出身中学校別の記念写真 ～



穎娃中学校



青戸中学校



別府中学校



川辺中学校



知覧中学校

1月7日、新春恒例の消防出初式が開催されました。南九州消防署での式典では、観閲・通常点検や救助・放水演習の披露、本門芳太郎団長を先頭に消防職員・団員ら約350人が、分列行進を行いました。知覧文化会館での表彰式では、長年の消防活動での輝かしい功績を称え団員やその家族に表彰状や感謝状が贈られました。

ここで、消防庁長官表彰、日本消防協会会長表彰の受章者（敬称略）を紹介します。



●消防庁長官表彰 1号銀杯【昨年度退団され、勤続年数が25年以上の方】

南九州市消防団	副団長	米満 憲一	知覧中央分団	分団長	蔵元 慎一
知覧中央分団	班長	大隣 健二	塩屋分団	班長	内村 修一
川辺中央分団	分団長	上原章太郎	川辺中央分団	班長	梅橋 浩徳
東区分団	分団長	山下 淳一			

●消防庁長官表彰 2号銀杯【昨年度退団され、勤続年数が15年以上・25年未満の方】

石垣分団	副分団長	川畑 亮一	知覧中央分団	班長	真茅 芳智
知覧中央分団	班長	川原 法明	永里分団	班長	室屋 雅道
霜出分団	班長	取違 弘喜	松山分団	分団長	前原 昭広
塩屋分団	団員	坂元 充	川辺中央分団	班長	西 範博
南区分団	班長	宇都 勝司	東区分団	班長	瀧山 昇
北区分団	副分団長	下久保剛哉	勝目分団	分団長	今村 泰宏

●日本消防協会会長表彰 精績章【勤続章受章者でさらに団活動に精励した者】

南九州市消防団	副団長	栢木 敏文	南九州市消防団	副団長	松山 正人
---------	-----	-------	---------	-----	-------

●日本消防協会会長表彰 勤続章【勤続30年（消防職員歴を含む）】

知覧中央分団	副分団長	高城 智大	東区分団	副分団長	桑水流 剛
永里分団	班長	室屋 雅道			

12月14日、高規格救急車が南九州消防署へ導入され、また、12月21日に額娃分遣所の消防自動車が最新の車両に更新されました。いずれも最新鋭の技術が搭載されており、救命率の向上や消火活動に威力を発揮するものと期待されます。



▲救急業務の高度化を図るため、高度な救急用資機材が積載された最新鋭の救急車。



▲初期消火に必要な水 2,000ℓを積載し、さらに最新の機能（泡消火剤）を装備した消防自動車。

人 ～泊聖依さん（勝目小学校6年生）～ 権作文コンテスト最優秀賞

鹿児島県小学生人権作文コンテストで、泊聖依さんの“違うから聞こえるハーモニー”が最優秀賞を受賞しました。担任の今村先生が「お互いを思い合いながら、クラスで挑戦した大縄跳びを綴った日記から生まれた」と話す作文には、それぞれ得意なこと苦しいことがあるから補い合っていることや、お互いの違いを受け入れて6年間過ごせたクラスみんなに対する泊さんの感謝の思いが書かれています。



▲賞状を手に持つ泊さんと勝目小学校6年生の皆さん。泊さんは「卒業までにみんなで大縄跳びを250回飛ぶことが目標」と話してくれました。

中 ～男女共同参画住民講座～ 嶋玲子さん講演会

男女共同参画住民講座が12月17日に知覧文化会館で開かれ、九州で初めて女性の町長になったことで有名な中嶋玲子さんの講演会が開催されました。

中嶋さんは、実際に体験された九州北部豪雨災害の話や、地域づくりには男女共同参画の視点と女性活躍が重要であるという話を分かりやすく解説され、参加者は熱弁に大きくうなずいたり、ユーモアあふれる話に一気に引き込まれていました。



▲“男女共同参画の視点を取り入れた共生・協働のまちづくり”と題して講演された中嶋玲子さん。

ふ ～第3回薩南文化講演会～ るさとの文化を学ぶ

12月17日、第3回薩南文化講演会が知覧図書館で開催されました。南九州市文化財課の上田耕文化財係長より、牧野遺跡や11月に発表された縄文ビーナス、南九州市の水車の技術とそのルーツについて分かりやすい話があり、参加者の皆さんは「勉強になった」と満足した様子でした。

次回の薩南文化講演会は、3月3日に知覧特攻平和会館の八巻聡専門員を講師に開催の予定です。



▲講師の上田耕文化財係長の話を熱心に聞く参加者の皆さん。

冬 ～頤娃高等学校イルミネーション～ の学校を飾る鮮やかな光

12月20日から1月中旬まで、頤娃高等学校のイルミネーションが点灯し、夜の学校を鮮やかに飾りました。このイルミネーションは、10年ほど前から課題研究の作品として、学生たちが毎年製作しているものです。地元商店街の集まり“三保通り会”の協力もあって、年を重ねるごとに大きく輝きを増すイルミネーションは、年末年始に道行く人たちを楽しませています。



▲夜の学校を鮮やかな光で飾るイルミネーション。頤娃高等学校の冬恒例の風景となっています。

役所前に立派な門松を設置

今年も知覧町たけのご振興会の皆さんにより、市役所知覧庁舎に高さ3m近くの大きな門松が飾られました。松竹梅や千両、ゆずり葉などをあしらった立派な門松です。

振興会の射手園武也会長は、「10周年を迎えた南九州市がこれからもますます発展するよう祈念して制作しました。今後も竹の積極的な利用をお願いします」と話していました。



▲知覧町たけのご振興会の皆さん。12月22日、天気にも恵まれ約3時間かけて門松を制作。1月10日まで設置されました。

ンダブルな干支かざり

12月27日、颯娃町谷場自治会の公民館に梅檀（せんだん）の木を彫って作った犬（戌）が飾られました。この干支の飾りは、子ども会育成会の皆さんが毎年手作りで作成し、年末年始の公民館に設置しています。また、子どもたちも、竹でミニ干支飾りを作ったり、地域の方から学びながら親子でしめ縄づくりに挑戦するなど、新しい年を迎える準備をみんな楽しんでいました。



▲梅檀の木で作られた戌の干支飾り（写真右端）と、竹で作ったミニ干支飾りを手にする谷場子ども会の皆さん。

歳おめでとうございます

12月20日に100歳のお誕生日を迎えられた鶴留カヨさんのもとを市長が訪問し、祝金と花束を贈呈して祝福しました。現在は施設でお過ごしで、訪問当日は、毎週面会に訪れる息子の昭夫さんも駆けつけお祝いしました。カヨさんは「自身では長生きの秘訣はわからないし、家系でもない」と話していますが、ご兄弟もご健在とのことで、常日ごろ健康を心がけていることと思われます。



▲息子の昭夫さん（右）と市長から祝福される鶴留カヨさん（中央）。

歳おめでとうございます

12月25日に100歳のお誕生日を迎えられた桑代ハツナさんのもとを市長が訪問し、祝金と花束を贈呈してお祝いしました。訪問当日は、現在生活されている施設に家族も集まり、多くの方に祝福されました。長生きの秘訣は「食べ物の好き嫌いをせず、質素儉約に努めること」と話すハツナさんは、息子の悟さんいわく「自分にできることは自分でする元気なお母さん」だそうです。



▲家族と市長に囲まれて祝福される桑代ハツナさん（左から4番目）。